

子宮がん検診をこれから受ける方・受けた方へ

子宮がんは女性のがんの中でもかかる人が多く、特に30～50歳代で多いがんです。
松江市では島根県の指針に基づき、「細胞診」と「HPV検査」を併用し、より正確な診断を行っています。
早期発見・治療で大切な命を守るために、定期的に受診してください。

(月経(生理)中は避けて検査を受けてください)

子宮頸部細胞診検査

対象：20歳以上の人

子宮頸部(子宮の入り口)を、先にブラシのついた専用の器具で擦って細胞を取り、異常な細胞がないかを顕微鏡で調べる検査。

HPV(ヒトパピローマウイルス)検査

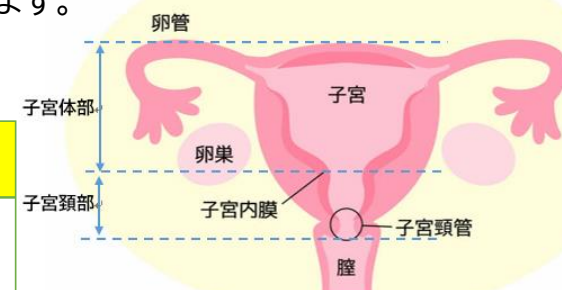
対象：25歳以上の人

子宮頸部の細胞をとり、子宮頸がんを引き起こすウイルスの有無を調べる検査。

子宮体部細胞診検査

対象：医師が必要と判断した人

子宮体部(子宮の奥)にある子宮内膜の粘膜から細胞を取り、異常な細胞がないかを顕微鏡で調べる検査。



自覚症状があれば、検診を待たずに、医療機関を受診しましょう。

NILM
(陰性)

HPV陰性

体部細胞診
陰性

異常なし

次回検診は3年後

体部細胞診
陰性

異常なし

次回検診は1年後

ASC-US

HPV陰性

体部細胞診
陰性

異常なし

次回検診は1年後

※島根県の指針に基づき「異常なし」の判定となります。マイナポータルで表示される結果と異なりますのでご注意ください。

上記以外の方(異常あり)

- 定期検査が必要です
- 精密検査が必要です
- 再検査が必要です
- がん以外の疾患の治療が必要です

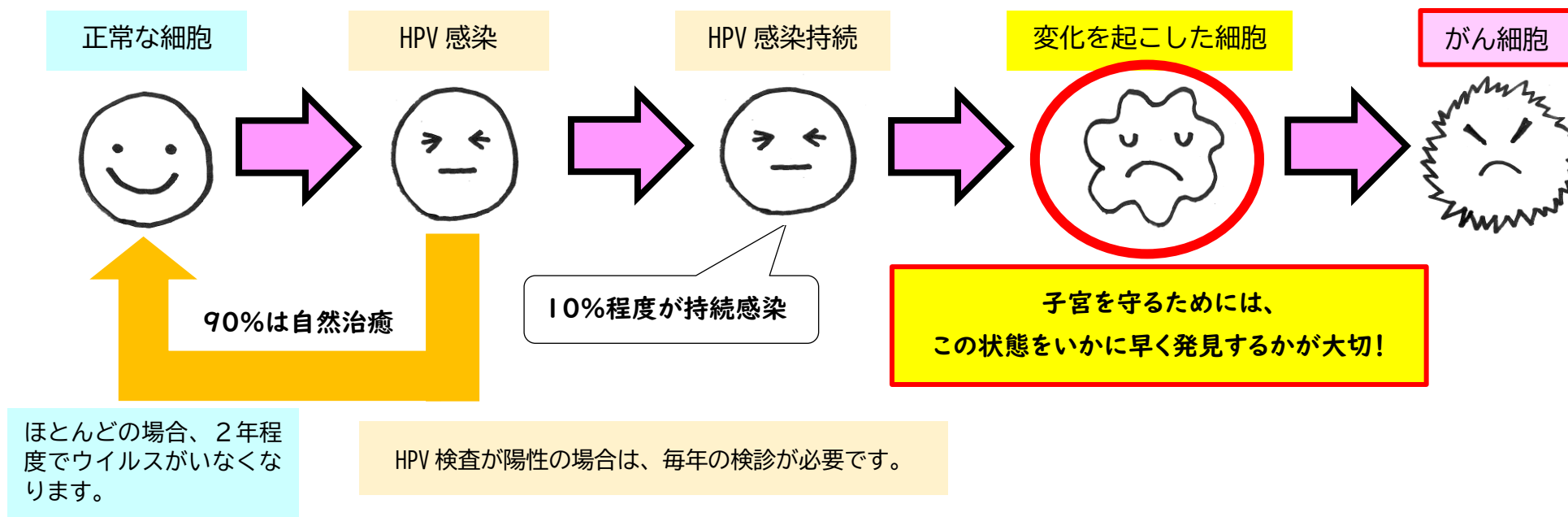
検査・治療のため、婦人科を受診してください。 次回の松江市子宮がん検診は1年後です

国の指針では子宮がん検診は2年に1回となっていますが、松江市では島根県の指針に基づいて判定をしており、検診結果によって次回の検診が1年後または3年後となります。

子宮頸がんの原因は、HPV(ヒトパピローマウイルス)

★HPV 検査はウイルスに感染しているかどうか、以前感染していたウイルスがいなくなっているかどうか、を確認する検査です。

★HPV 検査が陽性でも、子宮がん検診を毎年受けていれば、早期発見できます。



《ご確認ください》

- ☐ 低い確率ではありますが、検診にもデメリットがあります。
 - ・がんではないのに「要精密検査」と判定される場合（偽陽性）や、がんがあるのに見つけることができない場合（偽陰性）があります。
 - ・検査によって、出血が起こることがあります。
- ☐ 検診は松江市と各医療機関が連携して行い、精密検査結果は関係機関で共有されます。